

ご家庭での視力検査の方法

右の QR コードを読み取ると、視力検査の準備・実施方法の動画（約 3 分）を視聴できます。ぜひ、参考にしてください。



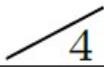
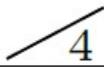
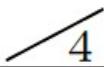
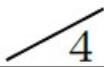
<用意するもの>

- ・視標 : 別紙の輪をそれぞれ切り取り、20cm 四方くらいの白い紙に貼り、検査の視標とします。
(アンケート用紙の裏の図 1 を参考にしてください。)
- ・眼帯 : ガーゼまたはティッシュペーパーを 5cm 四方くらいの大きさに折って、絆創膏またはセロテープで、のぞかれないようにしっかりとめてください。
- ・メジャー (距離を測るもの)

<検査の方法>

- 1 楽に本が読める程度の、明るい部屋で行います。
- 2 視力検査の練習をします。
 - (1) お子さんと **1m くらい** 離れ向かい合い、**大きい輪の視標** を見せます。両目を開けて行います。
 - (2) お子さんに輪の切れ目の方向を指か手で示してもらるか、または図 2 (アンケート裏) のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法で答えさせます。
 - (3) 輪の切れ目の方向は、右、左、上、下の 4 方向とします。視標の向きを変えるときは、**必ず一度視標を隠してから** 変えてください。
 - (4) 1m くらいでできたら、今度は **2.5m (できるだけ正確に測ってください)** 離れて行ってください。
 - (5) 両目を開けて、輪の切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - (6) 片目を隠す練習です。右目、左目をそれぞれ隠して答えさせてください。
- 3 検査方法を理解できたら、いよいよ検査します。
 - (1) **小さい輪の指標** を使い **2.5m** で行います。検査の方法は、大きい輪のとときと同様に行います。
 - (2) まず、両目で検査を行います。上下左右の 4 方向見せて、**3 方向以上** 正しく答えることができれば『見えた』とします。
 - (3) 次に、左目を隠して右目の検査を行ってください。見にくそうだったり、嫌がったりするときは、左目から検査をしてください。両目のときと同じように判定します。
 - (4) 続いて、隠す目を変えて左目 (または右目) の検査を行い、判定します。
 - (5) 結果を <視力検査の結果> 欄に記入してください。

<視力検査の結果>

	両目	右目	左目
大			
小			

<ランドルト環>

(キリトリ線)

